

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツコミッション合宿誘致推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ交流係
電話番号：058-272-1111 (内 2948)
E-mail: c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,300 千円 (前年度予算額：25,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	25,000	0	0	0	0	0	0	0	25,000
要求額	22,300	0	0	0	0	0	0	0	22,300
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・2021年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、国内外のトップアスリートの合宿を誘致し、県内スポーツ施設のブランド価値の向上に取り組んでいる他、県民の高地トレーニングの利用促進に努めている。
- ・当補助金を利用して合宿を実施した団体には、2016年リオデジャネイロオリンピックで金メダルを獲得したイギリス代表チームや箱根駅伝で4連覇を達成した青山学院大学などが名を連ねており、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアをはじめとする県内スポーツ施設のブランド価値向上に大きく寄与している。

(2) 事業内容

下記団体が実施するスポーツ合宿の宿泊費の一部を補助する。

- ① トップアスリートが所属する強豪チーム
- ② 県内スポーツ団体

(3) 県負担・補助率の考え方

定額

(「清流の国ぎふ 2020 プロジェクト」に基づき、県内でトレーニング合宿を行うために必要な経費として、宿泊費及び旅費の一部を県が負担)

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額 (千円)	事業内容の詳細
補助金	22,300	・ 宿泊費
合計	22,300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

他県においても同様の事業を実施 (47 都道府県中 12 県が実施)

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	スポーツコミッション（合宿誘致）推進事業費補助金																													
補助事業者（団体）	スポーツ団体 （理由） 2021年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、国内外のトップアスリートの合宿を誘致し、県内スポーツ施設のブランド価値の向上に取り組んでいる他、県民の高地トレーニングの利用促進に努めているため、スポーツ団体を補助事業者としている。																													
補助事業の概要	（目的） ①全国大会以上の大会で実績を残した国内外のトップアスリートの所属する団体が、県内スポーツ施設を利用することによる、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア等、各スポーツ施設のブランド価値向上。 ②飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアを県内スポーツ団体に周知することによる当該エリアの利用促進。 （内容） 下記団体が実施するスポーツ合宿の宿泊費の一部を補助する。 ①トップアスリートが所属する強豪チーム ②県内スポーツ団体																													
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） 前年度に、下記に定める条件を満たした団体に交付。 ※高地：飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア、平地：高地以外の県内スポーツ施設 ○以下の大会入賞実績を持つチーム ◆社会人チーム（高地・平地） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">入賞実績</th> <th style="width: 20%;">補助上限額</th> <th style="width: 60%;">大会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>50万円</td> <td rowspan="3">各中央競技団体が主催する、全国大会規模以上の大会等</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>30万円</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>20万円</td> </tr> </tbody> </table> ◆社会人以外のチーム（高地・平地） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">入賞実績</th> <th style="width: 20%;">補助上限額</th> <th style="width: 60%;">大会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>100万円</td> <td rowspan="3">各中央競技団体が主催する、全国大会規模以上の大会等</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>30万円</td> </tr> </tbody> </table> ※社会人チーム、社会人チーム以外が平地で合宿を行う場合、1位のみを対象とする。 ○以下の大会出場実績または出場予定を持つ選手が所属するチーム（高地・平地） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">国際大会</th> <th style="width: 30%;">共通</th> <th style="width: 40%;">大会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>オリンピック競技大会</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>パラリンピック競技大会</td> </tr> </tbody> </table>	入賞実績	補助上限額	大会	1位	50万円	各中央競技団体が主催する、全国大会規模以上の大会等	2位	30万円	3位	20万円	入賞実績	補助上限額	大会	1位	100万円	各中央競技団体が主催する、全国大会規模以上の大会等	2位	50万円	3位	30万円	国際大会	共通	大会			オリンピック競技大会			パラリンピック競技大会
入賞実績	補助上限額	大会																												
1位	50万円	各中央競技団体が主催する、全国大会規模以上の大会等																												
2位	30万円																													
3位	20万円																													
入賞実績	補助上限額	大会																												
1位	100万円	各中央競技団体が主催する、全国大会規模以上の大会等																												
2位	50万円																													
3位	30万円																													
国際大会	共通	大会																												
		オリンピック競技大会																												
		パラリンピック競技大会																												

			世界選手権大会 パラ世界選手権大会
	○ナショナルチーム（高地・平地）		
	チーム	補助上限額	大会
	海外代表チーム	別途協議	—
	国内代表チーム	50万円	—
	※代表チームとは、国及びそれに準ずる地域を代表として編成されたものを指す。ただし、年齢等の制限を設けている代表を除く。		
	◆県内チーム（高地）		
	入賞実績	補助上限額	大会
	—	20万円	—
	※県内団体による利用は、大会成績等を条件としないが、各中央競技団体への登録が必要。		
	（理由） ・県有スポーツ施設のブランド価値向上と、県民の飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進という事業目的を鑑み、上限額を定め、定額補助とする。		
補助効果	国内外のトップアスリートが当補助金を活用し、県内スポーツ施設を利用することは、県内スポーツ施設のブランド価値向上が見込まれ、国内外に対する岐阜県のPR効果が大きい。		
終期の設定	終期：令和3年度。令和4年度以降は未定。 （理由）東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた事業のため		

（事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
①全国大会以上の大会で実績を残した国内外のトップアスリートの所属する団体が、県内スポーツ施設を利用することによる、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア等、各スポーツ施設ブランド価値向上。
②飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアを県内スポーツ団体に周知することによる当該エリアの利用促進。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H24年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①エリア利用者数	21,215人	30,000人	30,000人

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	24,035千円	21,660千円	19,670千円	(予算額) 25,000千円	(要求額) 22,300千円
指標①目標	—	—	—	30,000人	30,000人
指標①実績	28,988人	28,321人	26,592人	(推計値) 14,430人	(推計値) 30,000人
指標①達成率	—	—	—	(推計値) 48.1%	(推計値) 100%

(前年度の成果)

新規 8 団体を含む、29 団体について補助を行う見込み。
(11/30 現在)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

- ①補助金交付団体を従来の交付団体からさらに厳正に選定し、トップアスリートによる利用を促進することによる、県内スポーツ施設のブランド価値向上。
- ②県内スポーツ団体への交付による、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの周知及び利用促進。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）

○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価)

○

2021年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、国内外のトップアスリート等による県内スポーツ施設の活用を促進することは、岐阜県を世界に向けてPRするために有効であり、県による積極的な取組が必要である。

・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）

○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている

△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

令和2年度は青山学院大学（神奈川県）や國學院大學（神奈川県）、遊学館高校（石川県）、SGホールディングスグループ（滋賀県）、鹿児島銀行（鹿児島県）等が飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで強化合宿を行った。国内トップの大学・高校や競技団体の利用によって、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの全国的な認知度の向上が図られている。

・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）

○：効率化は図られている △：向上の余地がある

(評価)

○

スポーツコミッション連絡会議等の開催により、県内市町村及び関係団体等に周知を行うなど、補助金の適正かつ有効な活用を図っている。

(事業の見直し検討)

令和3年度以降も、トップアスリートの施設利用によるブランド価値向上と、県内スポーツ団体への県内スポーツ施設の普及促進を図る。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催後もトップアスリートの施設利用によるブランド価値向上と、県内スポーツ団体への県内スポーツ施設の普及促進を図る必要があるため、制度の継続を検討していくが、令和 3 年度末に終期を迎える清流の国ぎふスポーツ推進計画の達成状況等を踏まえ、具体的な制度内容を決めていくこととなる。